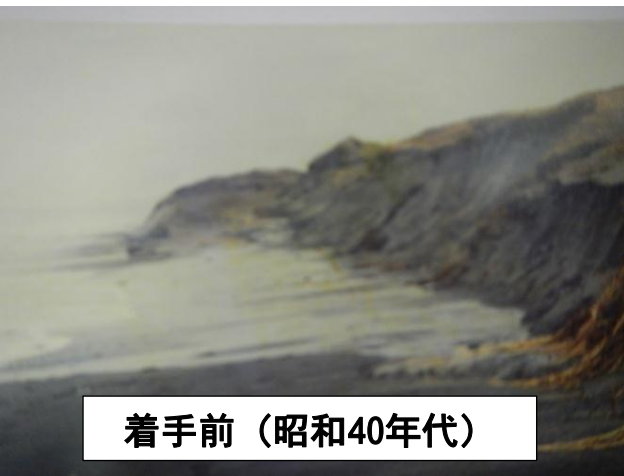


10 人々の暮らしを風や飛砂から守る屏風山海岸防災林造成事業

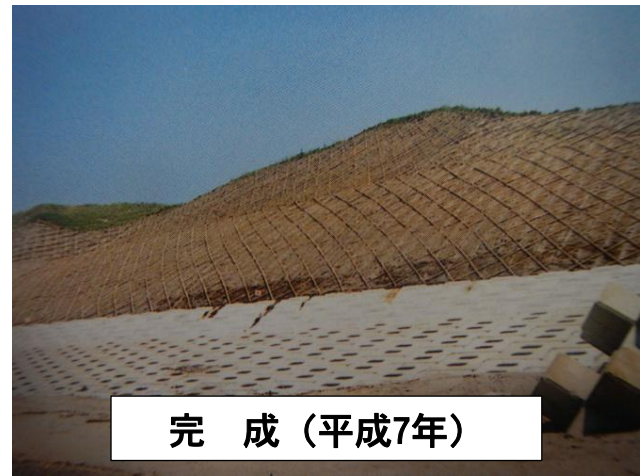
青森県（つがる市・五所川原市・^{あじがさわ}鱒ヶ沢町）



着手前（昭和40年代）



施工中（昭和40年代）



完成（平成7年）



○所在場所

青森県つがる市車力町屏風山国有林ほか

○施設・工法の概要

堆砂垣、覆砂工、静砂工、植栽工、つる切、除伐、排水工、防風垣、根固ブロック工、本数調整伐等

○解説

飢饉による乱伐等幾多の変遷により屏風山海岸林は荒れ果て、人々の生活に重大な悪影響を及ぼすようになっていました。

このため、国直轄による海岸林造成事業が昭和7年（1932年）より本格的にスタートしました。まず砂丘や砂草地を造成し、その後順次クロマツを植栽し、保育事業を進めてきました。その結果、国有林において約1,000ha、民有林において約1,900haに及ぶ海岸防災林が造成され、飛砂等の被害から津軽平野の人々の生活を守り、地域の主要産業であるメロンやスイカの農地保全に寄与しています。